

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	
氏名	窪 拓摩
着任日	令和3年2月1日

活動月	令和5年12月(着任2年11ヶ月)
主な活動	1. TEA LABO TRAVEL第二回を開催 2. 地域おこし協力隊の役割とポジションを振り返ってみて 3. 新たに知覧茶看板を設置しました

1. TEA LABO TRAVEL第二回を開催



ご予約はこちら

JAPANESE TEA

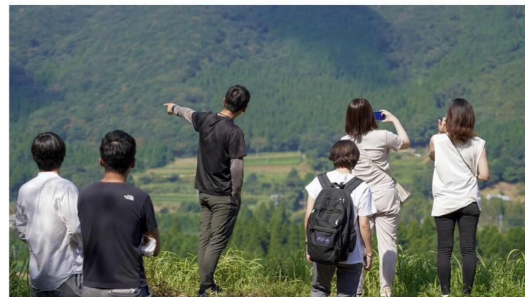
NO.2

TEALABO TRAVEL
2023/12/16-17

生産地ツアー
茶畑E-BIKEツアー
工場見学
茶いっぺタイム

宿泊/交流
かこゑ/ふたつや、宿泊
潮や、で生産者交流会

体験
ほうじ茶作り体験



TEALABO TRAVEL NO.2

1日目(12月16日)

生産地ツアー&交流会&宿泊

13:30
現地集合
宮原光製茶 売店前駐車場
13:30-15:00
e-bikeツーリズム@後岳
茶工場見学@ホクト
休憩@福田緑香園
購入@宮原光製茶 売店

15:30-16:30
各自移動(→だしとお茶の店 潮や、)

16:30-17:00 tea time @だしとお茶の店 潮や、
17:00-17:30 チェックイン
(ふたつや、かこゑの2棟)
17:30-18:30 自由時間
19:00-21:00 お茶農家さんとの交流食事会

21:00- 終了

2日目(12月17日)

朝食&体験

8:00-9:00
朝食@だしとお茶の店 潮や、
9:00-10:00
街歩きガイド@石垣商店街
10:00-11:30
ほうじ茶作り体験 @だしとお茶の店 潮や、

料金

1泊2食付き体験料込み
大人1名 4400円(税込)
ガイド料+保険料+宿泊費+飲食費
(夕食+朝食)+ワークショップ体験費
※夕食は飲み物1杯無料

事務局 株式会社オコソコ
担当 蔵元、徳田、森山

写真:一泊二日で生産地を回るトラベルツアーのご案内書

ワカモノへの消費につなげる知覧茶PR事業として、本年進めているTEA LABO TRAVEL 茶産地ツアーの第二回目が実施されました。今回も、11月開催と同様知覧町北部の冷涼な山間地後岳(うしろだけ)エリアで知覧茶を生産されている方々の茶工場見学や茶畑の紹介、お茶の飲み比べなどを実施しております。

さらに、ティーツーリズムをより五感で感じていただけるよう、産地の近場の移動は電動自転車(茶巡などを使用)を用いながら、体験型のツアーとなっている点も魅力の一つかと感じます。



南九州市
Minamikyushu City



写真：後岳を散歩しながら知覧茶の紹介をする様子

現在の茶の消費について、若い人たちがお茶を飲まない、家に急須がないことがリーフ茶の消費が悪い理由だとおっしゃるコメントも多いですが、実際に茶産地を訪れていただき、しっかりとお茶を向き合いご紹介をしていくと決してそれだけが理由ではない気がしてきます。

例えば、お茶に興味を持っていただいた若い方々に対し、お茶についてもっと知りたいので茶産地を紹介してほしい、どんな茶の種類があるのか知りたい、茶工場見学などの体験はできますか、などのニーズに対し、生産現場はきちんと向き合っていますかということです。

きっと、今は忙しい時期だからきて欲しくない、少人数で購入にも繋がらないからお断りをしようなどといった後ろ向きな思考が優先的に働き、魅力ある茶の情報を伝えるチャンスロスを犯しているのではないかと容易に考えられます。

私が協力隊として日々おこなっているSNS発信業務は、一見すると対外的な外への魅力発信活動としてのみ捉えられてしまいますかと思いますが、実は重要なのは、近い地元茶生産者や従事者への「意識改革」だったりします。

どうせ売れない、時間がない、若者はリーフ茶を飲まないという固定概念をいち早く抜け出し、柔軟な姿勢で向き合うことが、現状の一番の打破だと確信しております。



2. 地域おこし協力隊の役割とポジションを振り返ってみて



写真：毎朝の散歩コースからみえる茶畑と開聞岳と朝日

先月までのイベント最盛期の多忙な日々から一点、当月は、この一年で企画・実施してきた各種イベントの振り返り資料作成や、次月から動き出す人材派遣の取組企画の作成など、現場に従事していたときには一時的に優先順位を落としていた作業に、しっかりと取り掛かることができた月となりました。

ようやく少し落ち着いて、今までの各種取組の振り返りができるということで、私のような「半行政半民間」のようなポジションをとる地域おこし協力隊にとって、自分の役割とはなんなのかを改めて考えた際、やはり表立って自分をインフルエンサーのようにブランディングしていく協力隊活動よりは、ボトルネックとなっている部分に自分が入り問題を解決し、円滑に事業を推進する流れをつくるような、「裏方業務」≡営業職＋コンサルタント業での活動が求められているのではないかと強く感じています。

重要な取組ではあるが、面倒で継続ができず、また直近での成果が見えにくい業務のポジションに自分が入っていく、あるいは適正な人材と事業、企業をつなげる役割の重要性を再確認しております。



2. 新たに知覧茶看板を設置いたしました



知覧町北部の後岳エリアにある案内看板が老朽化し文字が読み取りにくかったり、安全性の問題などから、この度新しい看板をが設置され、私がドローン撮影した写真を採用いただきました。知覧庁舎側から後岳に向かう道路と、反対の鹿児島市側から後岳に向かう道路の二箇所に設置してありますので、ぜひ一度ご確認ください。

以上簡単ではございますが、当月の報告といたします。